

インタラクティブ短期国内留学報告書

大阪大学大学院理学研究科 高分子科学専攻
旧足立研究室 M1 信川省吾

留学先：信州大学大学院工学系研究科 生命機能工学専攻 英研究室

期間：2006 年 7 月 24 日 (月) ~ 27 日 (木)

目的：ゲル化剤の合成手法の習得

今回、私はインタラクティブ大学院教育プログラムの一環である、短期の国内留学として信州大学の英研究室へ行き、合成の勉強をさせていただきました。英研究室では主にゲル化剤の合成を行っており、さらにそのゲル化剤を用いて様々な研究をされています。私の研究室では、英研究室で合成していただいたゲル化剤の物性を調べるという経緯があり、今回、英研究室に留学させていただく事になりました。期間中は今回の目的である、ゲル化剤の合成を行いました。4 日間は有機合成のノウハウを学ぶには短かい期間でしたが、英先生を初め、研究室のみなさんの助けもあり、多くの事を学べました。特に英先生には実験操作や合成手順の考え方を教わり、大変勉強になりました。

私の研究は高分子系の物性を調べるのが基本で、合成はほとんど行ってきませんでしたので、今回の留学はよい経験であり、今後の研究に役に立つことでしょう。

また信州は大阪に比べて涼しく、夏は過ごしやすいところだと思いました。さらに大阪では見られなくなった素晴らしい景色も見ることができました。

最後になりましたが、今回の国内留学でお世話になった英研究室の皆様、インタラクティブ関係の皆様、またその他にも支援してくださった方々に心よりお礼申し上げます。

